

受 検 番 号	氏 名

令和 5 年度 (後期)

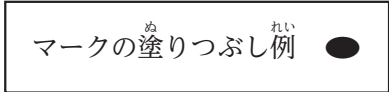
2 級建築施工管理技術検定

第一次検定問題

令和 5 年 11 月 12 日 (日)

[注 意 事 項]

1. ページ数は、表紙を入れて 20 ページです。
2. 試験時間は、10 時 15 分から 12 時 45 分です。
3. 問題の解答の仕方は、次によってください。
 - イ. [No. 1] から [No. 14] までの 14 問題のうちから、9 問題を選択し、解答してください。
 - ロ. [No. 15] から [No. 17] までの 3 問題は、全問題を解答してください。
 - ハ. [No. 18] から [No. 28] までの 11 問題のうちから、8 問題を選択し、解答してください。
 - ニ. [No. 29] から [No. 38] までの 10 問題は、全問題を解答してください。
 - ホ. [No. 39] から [No. 42] までの 4 問題は、全問題を解答してください。
 - ヘ. [No. 43] から [No. 50] までの 8 問題のうちから、6 問題を選択し、解答してください。
4. 選択問題は、解答数が指定数を超えた場合、減点となりますから注意してください。
5. 問題番号 [No. 1] から [No. 38], [No. 43] から [No. 50] は、四肢択一式です。
正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。
6. 問題番号 [No. 39] から [No. 42] は、施工管理法の能力問題で四肢択二式です。
正解と思う肢の番号を 2 つ選んでください。
なお、選んだ肢の番号が 2 つとも正しい場合のみ正答となります。
7. 解答の記入に当たっては、次によってください。
 - イ. 解答は、選んだ番号を右のマークの塗りつぶし例に従って、[HB] の黒鉛筆か黒シャープペンシルで塗りつぶしてください。
 - ロ. マークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消して訂正してください。
8. 解答用紙は、雑書きしたり、汚したり、折り曲げたりしないでください。
9. この問題用紙は、計算等に使用しても差し支えありません。
10. 漢字に付したふりがなは補足であり、異なる読み方の場合があります。
11. この問題用紙は、第一次検定の試験終了時刻まで在席した場合に限り、持ち帰りを認めます。
途中退席する場合は、持ち帰りできません。



- ※ 問題番号 [No. 1] から [No. 14] までの14問題のうちから、9問題を選択し、解答してください。
ただし、9問題を超えて解答した場合、減点となりますから注意してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を1つ選んでください。

[No. 1] 換気に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 空気齢とは、空気が流入口から室内のある点まで到達するのに要する平均時間のことである。
2. 必要換気回数は、必要換気量を室容積で割った値であり、室内の空気を1時間に何回入れ替えるのかを表す。
3. 機械換気方式には、屋外の風圧力を利用するものと室内外の温度差による空気の密度の違いを利用するものがある。
4. 温度差換気の換気量は、給気口と排気口の高低差の平方根に比例する。

[No. 2] 採光及び照明に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 全天空照度は、直射日光による照度を含む。
2. 屋光率は、窓等の採光部の立体角投射率によって異なる。
3. 全般照明と局部照明を併せて行う照明方式を、タスク・アンビエント照明という。
4. 高輝度な部分や極端な輝度対比等によって感じるまぶしさを、グレアという。

[No. 3] 音に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 室内の仕上げが同じ場合、室の容積が大きいほど残響時間は長くなる。
2. 人が音として知覚できる可聴周波数は、一般に、20 Hz から 20,000 Hz である。
3. 音の強さのレベルが 60 dB の同じ音源が 2 つ同時に存在する場合、音の強さのレベルは約 120 dB になる。
4. 周波数の低い音は、高い音より壁や扉等の背後に回り込みやすい。

[No. 4] 鉄筋コンクリート構造に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 腰壁やたれ壁が付いた柱は、付いていない柱に比べ、地震時にせん断破壊を起こしやすい。
2. 大梁は、床の鉛直荷重を支えると同時に、柱をつなぎ地震力等の水平力にも抵抗する部材である。
3. 耐震壁の配置は、建築物の重心と剛心をできるだけ近づけるようにする。
4. 耐震壁の壁量は、地震等の水平力を負担させるため、下階よりも上階が多くなるようにする。

[No. 5] 鉄骨構造の一般的な特徴に関する記述として、鉄筋コンクリート構造と比較した場合、最も不適当なものはどれか。

1. 同じ容積の建築物では、構造体の軽量化が図れる。
2. 構造体の剛性が大きいので、振動障害が生じにくい。
3. 架構の変形能力が高い。
4. 大スパンの建築物が可能である。

[No. 6] 鉄骨構造に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 丸鋼を用いる筋かいは、主に圧縮力に抵抗する。
2. ガセットプレートは、節点に集まる部材相互の接合のために設ける部材である。
3. 裏当て金は、完全溶込み溶接を片面から行うために、溶接線に沿って開先ルート部の裏側に取り付けられる鋼板である。
4. ダイアフラムは、梁から柱へ応力を伝達するため、仕口部に設ける。

[No. 7] 地盤及び基礎構造に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

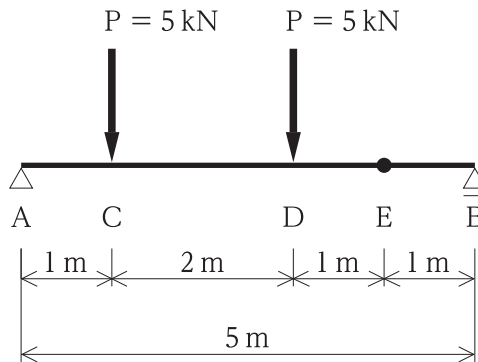
1. 独立フーチング基礎は、一般に基礎梁で連結する。
2. 洪積層は、沖積層に比べ建築物の支持地盤として適している。
3. 液状化現象は、粘性土地盤より砂質地盤のほうが生じやすい。
4. 直接基礎の鉛直支持力は、基礎スラブの根入れ深さが深くなるほど小さくなる。

[No. 8] 長方形断面の部材の応力度の算定とそれに用いる変数の組合せとして、最も不適当

なものほどれか。

1. 柱の垂直応力度の算定 —— 柱の断面積
2. 梁のせん断応力度の算定 —— 梁幅
3. 曲げ応力度の算定 —— 断面二次半径
4. 縁応力度の算定 —— 断面係数

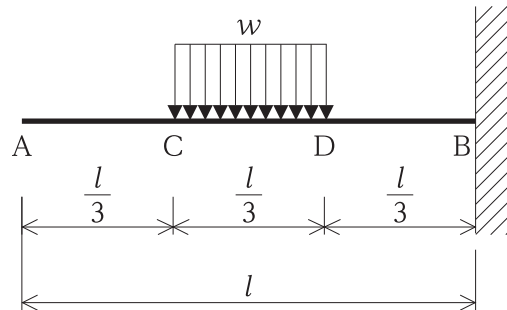
[No. 9] 図に示す単純梁 AB において、点 C 及び点 D にそれぞれ集中荷重 P が作用したとき、点 E に生じる応力の値の大きさとして、正しいものはどれか。



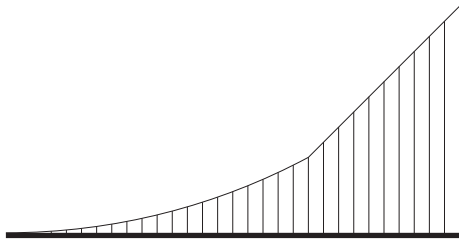
1. せん断力は、2 kN である。
2. せん断力は、6 kN である。
3. 曲げモーメントは、4 kN・m である。
4. 曲げモーメントは、8 kN・m である。

[No. 10] 図に示す片持梁 AB の CD 間に等分布荷重 w が作用したときの曲げモーメント図として、正しいものはどれか。

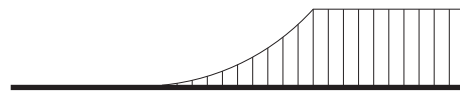
ただし、曲げモーメントは材の引張側に描くものとする。



1.



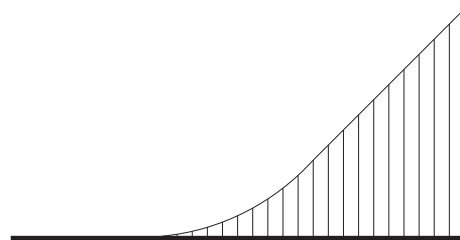
2.



3.



4.



[No. 11] 構造用鋼材に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 線膨張係数は、約 1.2×10^{-5} (1/°C) である。
2. 炭素含有量が多くなると、ねばり強さや伸びが大きくなる。
3. 建築構造用圧延鋼材 SN 400 B の引張強さの下限値は、400 N/mm² である。
4. 鋼のヤング係数は、常温では強度に係わらずほぼ一定である。

[No. 12] 木材に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 辺材部分は、一般に心材部分より含水率が高い。
2. 気乾状態とは、木材の水分が完全に無くなった状態をいう。
3. 繊維方向の圧縮強度は、繊維に直交する方向の圧縮強度より大きい。
4. 強度は、繊維飽和点以上では、含水率が変化してもほぼ一定である。

[No. 13] 日本産業規格 (JIS) に規定する建具の性能試験に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 遮音性の性能試験では、音響透過損失を測定する。
2. 気密性の性能試験では、通気量を測定する。
3. 結露防止性の性能試験では、熱貫流率を測定する。
4. 水密性の性能試験では、漏水を測定する。

[No. 14] シーリング材に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. ポリサルファイド系シーリング材は、ムーブメントが大きい目地には好ましくない。
2. ポリウレタン系シーリング材は、ガラス回り目地に適している。
3. シリコン系シーリング材は、紫外線による変色が少ない。
4. アクリルウレタン系シーリング材は、施工時の気温や湿度が高い場合、発泡のおそれがある。

※ ^{もんだいばんごう}問題番号 [No. 15] から ^{もんだい} [No. 17] までの ^{ぜんもんだい} 3問題は、^{かいとう} 全問題を解答してください。
^{もんだい} 問題は ^{よんしだくいつしき} 四肢択一式です。^{せいがい} 正解と ^{おも} 思う ^{あし} 肢の ^{ばんごう} 番号を ^{えら} 1つ選んでください。

[No. 15] ^{きよりそくりよう} 距離測量における ^{そくていち} 測定値の ^{ほせい} 補正に関する ^{きじゆつ} 記述として、^{もつと} 最も ^{ふてきとう} 不適当なものはどれか。

1. ^{こうは} 光波測距儀を用いた ^{そくりよう} 測量において、^{きしやうほせい} 気象補正を行った。
2. ^{こうは} 光波測距儀を用いた ^{そくりよう} 測量において、^{はんしゃ} 反射プリズム ^{ていすうほせい} 定数補正を行った。
3. ^{こうせいまきじゃく} 鋼製巻尺を用いた ^{そくりよう} 測量において、^{しつどほせい} 湿度補正を行った。
4. ^{こうせいまきじゃく} 鋼製巻尺を用いた ^{そくりよう} 測量において、^{しゃくていすうほせい} 尺定数補正を行った。

[No. 16] ^{しょうめい} LED 照明に関する ^{いっばんてき} 一般的な ^{きじゆつ} 記述として、^{もつと} 最も ^{ふてきとう} 不適当なものはどれか。

1. ^{すいぎん} 水銀を使用していないため、^{はいき} 廃棄する ^{ばあい} 場合に ^{けいこうとう} 蛍光灯のように ^{てま} 手間が ^か 掛からない。
2. ^{けいこうとう} 蛍光灯や ^{でんきゅう} 電球に ^{くら} 比べ ^{たいねつせい} 耐熱性が高いため、^{たか} 高温となる ^{こうおん} 発熱体の ^{はつねつたい} 周辺への ^{しゅうへん} 設置に ^{せつち} 適している。
3. ^{ひかり} 光の ^{しょうしゃほうこう} 照射方向に ^{ねつ} 熱を ^{はつ} ほとんど ^{せいせんしよくりょうひんよう} 発しないため、^{しょうめい} 生鮮食料品用の ^{てき} 照明に ^{てき} 適している。
4. ^{こうせん} 光線に ^{しがいせん} 紫外線を ^{ふく} ほとんど ^{おくがいしょうめい} 含まないため、^{しょう} 屋外照明に ^{むし} 使用しても ^よ 虫が ^つ 寄り付きにくい。

[No. 17] ^{けんちくせつび} 建築設備とそれに ^{かんれん} 関連する ^{ようご} 用語の ^{くみあわ} 組合せとして、^{もつと} 最も ^{かんけい} 関係の ^{すく} 少ないものはどれか。

1. ^{きゅうすいせつび} 給水設備 ————— ^{ヒートポンプ} ヒートポンプ
2. ^{せつび} ガス設備 ————— ^{マイコンメーター} マイコンメーター
3. ^{はいすいせつび} 排水設備 ————— ^{トラップ} トラップ
4. ^{くうきちやうわせつび} 空気調和設備 ————— ^{ファンコイルユニット} ファンコイルユニット

※ **問題番号** [No. 18] から [No. 28] までの11問題のうちから、8問題を選択し、解答してください。
 ただし、8問題を超過して解答した場合、減点となりますから注意してください。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を1つ選んでください。

[No. 18] やり方及び墨出しに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 水貫は、水杭に示した一定の高さに上端を合わせて、水杭に水平に取り付ける。
2. 鋼製巻尺は、同じ精度を有する巻尺を複数本用意して、そのうちの1本を基準巻尺とする。
3. やり方は、建物の高低、位置、方向、心の基準を明確に表示するために設ける。
4. 2階から上階における高さの基準墨は、墨の引通しにより、順次下階の墨を上げる。

[No. 19] 地業工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 砂利地業で用いる砂利は、砂が混じったものよりも粒径の揃ったものとする。
2. 締固めによって砂利地業にくぼみが生じた場合、砂利を補充して表面を平らに均す。
3. 捨てコンクリートは、墨出しをしやすくするため、表面を平坦にする。
4. 土間コンクリートの下の防湿層は、断熱材がある場合、断熱材の直下に設ける。

[No. 20] 鉄筋の加工及び組立てに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

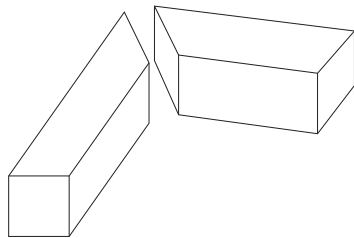
1. 鉄筋の折曲げ加工は、常温で行う。
2. 鉄筋相互のあきは、鉄筋の強度により定められた最小寸法を確保する。
3. 床開口部補強のための斜め補強筋は、上下筋の内側に配筋する。
4. ガス圧接を行う鉄筋は、端面を直角、かつ、平滑にする。

[No. 21] 高力ボルト接合に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

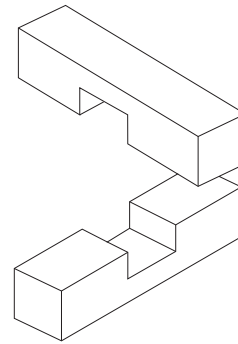
1. トルシア形高力ボルトの本締めは、ピンテールが破断するまで締め付けた。
2. トルシア形高力ボルトの座金は、座金の内側面取り部がナットに接するように取り付けけた。
3. JIS形高力ボルトの首下長さは、締め付け長さとナットと座金の高さを加えた寸法とした。
4. 高力ボルト接合部のフィラープレート両面に摩擦面処理を行った。

[No. 22] 在来軸組構法の木工事における仕口の名称と納まり図の組合せとして、誤っているものはどれか。

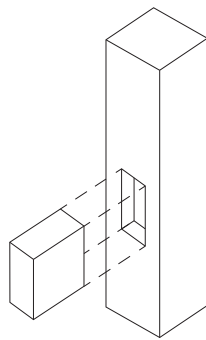
1. 大留め



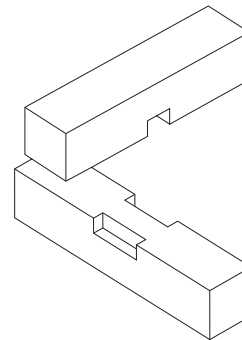
2. 相欠き



3. 大入れ



4. 蟻掛け



[No. 23] セメントモルタルによるタイル後張り工法に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. マスク張りにおいて、タイル裏面へマスク板を当てて、張付けモルタルを金ごてで塗り付けた。
2. 密着張りにおいて、タイルは下部から上部に張り進めた。
3. 改良圧着張りにおいて、張付けモルタルの1回に塗り付ける面積は、タイル工1人当たり 2m^2 とした。
4. モザイクタイル張りにおいて、張付けモルタルの1回に塗り付ける面積は、タイル工1人当たり 3m^2 とした。

[No. 24] 金属製折板葺に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. はぜ締め形折板は、本締めの前にタイトフレームの間を1mの間隔で部分締めを行った。
2. けらば部分の折板の変形を防ぐため、変形防止材を設けた。
3. 重ね形折板の重ね部に使用する緊結ボルトの流れ方向の間隔は、900mmとした。
4. 重ね形折板のボルト孔は、呼び出しポンチで開孔した。

[No. 25] コンクリート壁下地のセメントモルタル塗りに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 吸水調整材は、下地とモルタルの接着力を増強するため、厚膜となるように十分塗布した。
2. 下塗りは、吸水調整材塗りの後、3時間経過してから行った。
3. つけ送りを含む総塗り厚が40mmとなる部分は、下地にアンカーピンを打ち、ネットを取り付けた。
4. セメントモルタル張りのタイル下地となるモルタル面は、木ごてで仕上げた。

[No. 26] 建具金物に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 本締め錠は、握り玉の中心にシリンダーが組み込まれたもので、ラッチボルトがデッドボルトと兼用となっている錠である。
2. 鎌錠は、鎌状のデッドボルトを突合せ部分の受けに引っかけて施錠するもので、引き戸に使用される錠である。
3. ピボットヒンジは、戸を上下から軸で支える金物で、戸の表面外又は戸厚の中心に取り付ける。
4. フロアヒンジは、床に埋め込む箱形の金物で、自閉機能があり、戸の自閉速度の調整をすることができる。

[No. 27] 木質系素地面の塗装に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. オイルステイン塗りは、塗付け後、乾き切らないうちに余分な材料を拭き取った。
2. 合成樹脂調合ペイント塗りの中塗りは、塗装回数を明らかにするため、上塗りと色を変えて塗装した。
3. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りは、塗料の粘度の調整を水で行った。
4. クリヤラッカー塗りの下塗りは、ジंकリッチプライマーを用いた。

[No. 28] ビニル床シート張りに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. シートを幅木部に張り上げるため、ニトリルゴム系接着剤を使用した。
2. 熱溶接工法では、シート張付け後、張付け用接着剤が硬化する前に溶接接合を行った。
3. シートを壁面に張り上げるため、床と壁が取り合う入隅部に面木を取り付けた。
4. 湿気のおそれのある下地への張付けには、エポキシ樹脂系接着剤を使用した。

※ 問題番号 [No. 29] から [No. 38] までの 10 問題は、全問題を解答してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 29] 事前調査に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 鉄骨の建方計画に当たり、近隣の商店や工場の業種について調査を行うこととした。
2. 敷地境界と敷地面積の確認のため、地積測量を行うこととした。
3. 敷地内の建家、立木、工作物の配置を把握するため、平面測量を行うこととした。
4. 根切り工事に当たり、埋蔵文化財の有無について調査を行うこととした。

[No. 30] 仮設計画に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 下小屋は、材料置場の近くに設置し、電力や水道等の設備を設けることとした。
2. 工事用ゲートの有効高さは、鉄筋コンクリート造の工事のため、最大積載時のトラックアジテータの高さとすることとした。
3. 工事現場の周辺状況により、危害防止上支障がないことから、仮囲いとしてガードフェンスを設置することとした。
4. 工事用ゲートには、車両の入退場を知らせる標示灯を設置したが、周辺生活環境に配慮しブザーは設置しないこととした。

[No. 31] 工事現場における材料の保管に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 巻いた壁紙は、くせが付かないように立てて保管した。
2. ビニル床タイルは、乾燥している床に箱詰め梱包のまま、積重ねを 10 段までとして保管した。
3. 板ガラスは、クッション材を挟み、乾燥した場所に平積みで保管した。
4. 防水用の袋入りアスファルトは、積重ねを 10 段までとして保管した。

[No. 32] 工程計画の立案段階で考慮すべき事項として、最も不適当なものはどれか。

1. 最初に全ての工種別の施工組織体系を把握する。
2. 敷地周辺の上下水道やガス等の公共埋設物を把握する。
3. 鉄骨工事の工程計画では、資材や労務の調達状況を調査して、手配を計画する。
4. 型枠工事の工程計画では、型枠存置期間を考慮して、せき板や支保工の転用を検討する。

[No. 33] バーチャート工程表の特徴に関する記述として、ネットワーク工程表と比較した場合、最も不適当なものはどれか。

1. 手軽に作成することができ、視覚的に工程が把握しやすい。
2. 作業間調整に伴う修正がしやすい。
3. 前工程の遅れによる後工程への影響が把握しにくい。
4. 全体工期の短縮を検討する場合、工程のどこを縮めればいいのかかわかりにくい。

[No. 34] 品質管理に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 品質計画に基づく施工の試験又は検査の結果は、次の計画や設計に活かす。
2. 川上管理とは、品質に与える影響が大きい前段階や生産工程の上流で品質を管理することである。
3. 施工品質管理表（QC工程表）とは、管理項目について管理値、検査の時期、方法、頻度等を明示したものである。
4. 試験とは、性質又は状態を調べ、判定基準と比較して良否の判断を下すことである。

[No. 35] トルシア形高力ボルトのマーキングに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. マーキングは、高力ボルトの取付け後、直ちに行う。
2. マーキングは、ボルト軸からナット、座金及び母材にかけて一直線に行う。
3. マークのずれによって、軸回りの有無を確認できる。
4. マークのずれによって、本締め完了の確認ができる。

[No. 36] コンクリートの試験に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 1回の圧縮強度試験の供試体の個数は、3個とした。
2. 1回の圧縮強度試験は、コンクリート打込み日ごと、打込み工区ごと、かつ、 150 m^3 以下にほぼ均等に分割した単位ごとに行った。
3. スランプの測定値は、スランプコーンを引き上げた後の、平板からコンクリート最頂部までの高さとした。
4. スランプ試験において、スランプコーンを引き上げた後、コンクリートが偏って形が不均衡になったため、別の試料によって新たに試験を行った。

[No. 37] 建築工事における危害又は迷惑と、それを防止するための対策に関する記述として、
最も不適当なものはどれか。

1. 高所作業による工具等の落下を防ぐため、水平安全ネットを設置した。
2. 工事用車両による道路面の汚れを防ぐため、洗浄装置を設置した。
3. 掘削による周辺地盤の崩壊を防ぐため、防護柵を設置した。
4. 解体工事による粉塵の飛散を防ぐため、散水設備を設置した。

[No. 38] 建設業の現場における特定元方事業者が講ずべき措置として、「労働安全衛生法」上、
定められていないものはどれか。

1. 機械等が転倒するおそれがある場所において関係請負人の労働者が作業を行うとき、その関係請負人に対する技術上の指導を行うこと。
2. 関係請負人が行う安全教育に対して、安全教育に使用する資料を提供すること。
3. 特定元方事業者の労働者及び関係請負人の労働者の作業が同一の場所において行われるとき、作業間の連絡及び調整を行うこと。
4. 足場の組立て作業において、材料の欠点の有無を点検し、不良品を取り除くこと。

※ **問題番号** [No. 39] から [No. 42] までの4問題は**能力問題**です。**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択二式**です。正解と思う肢の番号を**2つ**選んでください。

[No. 39] 型枠の支保工に関する記述として、**不適当なものを2つ**選べ。

1. 上下階の支柱は、できるだけ平面上の同一位置になるように設置した。
2. 地盤上に直接支柱を立てるため、支柱の下に剛性のある敷板を敷いた。
3. 支柱は、パイプサポートを3本継ぎとした。
4. パイプサポートに設ける水平つなぎは、番線を用いて緊結した。

[No. 40] 型枠の存置期間に関する一般的な記述として、**不適当なものを2つ**選べ。

ただし、計画供用期間の級は標準とする。

1. コンクリートの材齢によるせき板の最小存置期間は、普通ポルトランドセメントと高炉セメントB種では同じである。
2. コンクリートの材齢によるせき板の最小存置期間は、同じセメントの種類の場合、存置期間中の平均気温の高低に係わらず同じである。
3. せき板の最小存置期間を定めるコンクリートの圧縮強度は、柱と壁は同じである。
4. 梁下のせき板の最小存置期間を定めるコンクリートの圧縮強度は、コンクリートの設計基準強度が同じ場合、セメントの種類に係わらず同じである。

[No. 41] 合成高分子系ルーフィングシート防水の接着工法に関する記述として、**不適当なものを2つ**選べ。

1. 加硫ゴム系シート防水において、プライマーを塗布する範囲は、その日にシートを張り付ける範囲とした。
2. 加硫ゴム系シート防水において、接着剤を塗布後、オープンタイムを置かずにシートを張り付けた。
3. 塩化ビニル樹脂系シート防水において、シートを張り付けるエポキシ樹脂系接着剤は、シート裏面に塗布した。
4. 塩化ビニル樹脂系シート防水において、防水層の立上り末端部は、押え金物で固定し、不定形シール材を用いて処理した。

[No. 42] 外壁仕上げの劣化とその改修工法に関する記述として、**不適当なものを2つ選べ。**

1. コンクリート打放し面のひび割れは、ポリマーセメントモルタル充填工法で改修した。
2. 劣化した既存複層仕上塗材は、高圧水洗で除去した。
3. タイル張り仕上げの浮きは、Uカットシール材充填工法で改修した。
4. モルタル塗り仕上げの浮きは、アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法で改修した。

※ 問題番号 [No. 43] から [No. 50] までの8問題のうちから、6問題を選択し、解答してください。
ただし、6問題を超えて解答した場合、減点となりますから注意してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を1つ選んでください。

[No. 43] 用語の定義に関する記述として、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 基礎は、構造耐力上主要な部分であるが、主要構造部ではない。
2. 電波塔に設けた展望室は、建築物である。
3. コンビニエンスストアは、特殊建築物ではない。
4. コンクリートや石は、耐水材料である。

[No. 44] 地上階における居室の採光及び換気に関する記述として、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 採光に有効な部分の面積を計算する際、天窗は実際の面積よりも大きな面積を有する開口部として扱う。
2. 換気設備のない居室には、原則として、換気に有効な部分の面積がその居室の床面積の $\frac{1}{20}$ 以上の換気のための窓その他の開口部を設けなければならない。
3. 病院の診察室には、採光のための窓その他の開口部を設けなければならない。
4. ふすま、障子その他随時開放することができるもので仕切られた2室は、居室の採光及び換気の規定の適用に当たっては、1室とみなす。

[No. 45] 建設業の許可に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 2以上の都道府県の区域内に営業所を設けて営業しようとする者が建設業の許可を受ける場合には、国土交通大臣の許可を受けなければならない。
2. 国又は地方公共団体が発注者である建設工事を請け負う者は、特定建設業の許可を受けていなければならない。
3. 建築工事業で一般建設業の許可を受けている者は、発注者から直接請け負う1件の建設工事の下請代金の総額が7,000万円の下請契約をすることができない。
4. 解体工事業で一般建設業の許可を受けている者は、発注者から直接請け負う1件の建設工事の下請代金の総額が4,500万円の下請契約をすることができない。

[No. 46] 建設工事の請負契約書に記載しなければならない事項として、「建設業法」上、定められていないものはどれか。

1. 工事の履行に必要なとなる建設業の許可の種類及び許可番号
2. 当事者の一方から設計変更の申出があった場合における工期の変更、請負代金の額の変更又は損害の負担及びそれらの額の算定方法に関する定め
3. 天災その他不可抗力による工期の変更又は損害の負担及びその額の算定方法に関する定め
4. 注文者が工事の全部又は一部の完成を確認するための検査の時期及び方法並びに引渡し
の時期

[No. 47] 労働契約に関する記述として、「労働基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 使用者は、労働契約の不履行について、違約金とその支払の方法を定めて契約しなければならない。
2. 使用者は、労働契約に附随して貯蓄の契約をさせてはならない。
3. 使用者は、労働することを条件とする前貸の債権と賃金を相殺してはならない。
4. 使用者は、労働契約の締結に際し、労働者に対して就業の場所及び従事すべき業務に関する事項を明示しなければならない。

[No. 48] 事業者が、新たに職務に就くことになった職長に対して行う安全衛生教育に関する事項として、「労働安全衛生法」上、定められていないものはどれか。

ただし、作業主任者を除くものとする。

1. 労働者の配置に関する事
2. 作業方法の決定に関する事
3. 労働者に対する指導又は監督の方法に関する事
4. 作業環境測定の実施に関する事

[No. 49] 工作物の建設工事に伴う次の副産物のうち、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」上、産業廃棄物に該当しないものはどれか。

1. 除去に伴って生じたコンクリートの破片
2. 新築に伴って生じたゴムくず
3. 除去に伴って生じた陶磁器くず
4. 地下掘削に伴って生じた土砂

[No. 50] 消防用設備等の種類と機械器具又は設備の組合せとして、「消防法」上、誤って

るものはどれか。

- | | | | | |
|----|------------|-------|-----------------|---------|
| 1. | 警報設備 | _____ | ろうでん か さいけいほう き | 漏電火災警報器 |
| 2. | 消火設備 | _____ | れんけつそうすいかん | 連結送水管 |
| 3. | 消火活動上必要な施設 | _____ | はいえんせつ び | 排煙設備 |
| 4. | 避難設備 | _____ | きゅうじょぶくろ | 救助袋 |